



組織的な授業改善を一步先へ!!

～倉敷市立菅生小学校の取組～

2学期は授業公開等が行われ、授業研究が充実する時期と思います。今号では、全教職員が一丸となり、授業改善に取り組んでいる倉敷市立菅生小学校の取組を紹介します。

研究主題

「学ぶ喜びを実感する児童の育成」

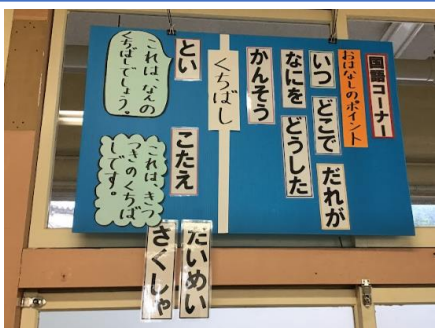
～確かな読みの力をつける説明的文章の指導を通して～

菅生小学校では、これまでの3年間で算数科の研究に取り組んできましたが、その研究を通して問題文を正確に読み取ることや出題の意図を捉えることに課題があると捉え、今年度からは国語科の研究に取り組まれています。

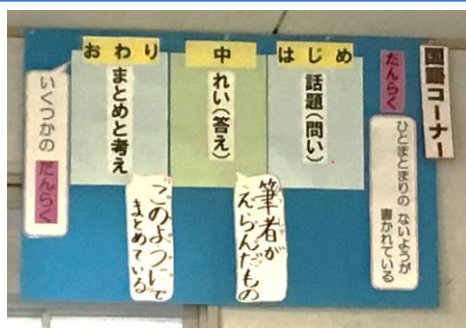


共通の取組

説明的文章の指導を行う際の指導事項を教科書や学習指導要領等を基に整理・共有し、その指導事項を授業に生かすねらいで「国語コーナー」を作成し、各教室に掲示しています。今年度末には、各学年の掲示を持ち寄り、系統性や指導内容等を確認し、菅生小版「国語コーナー」のひな型を作成する予定です。



特別支援学級の「国語コーナー」



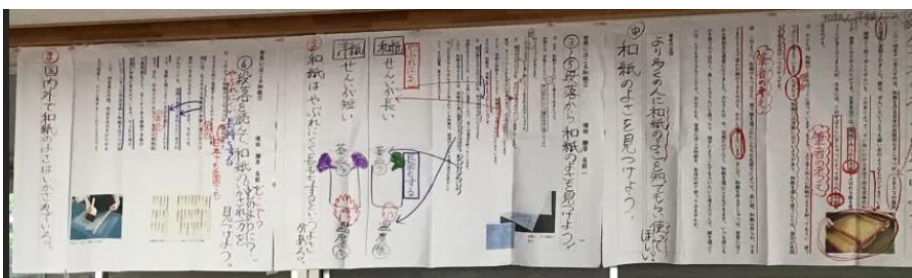
3年生の「国語コーナー」

説明的文章において、各学年で押さえない指導事項だけでなく、児童の光る発言を活かした言葉を掲示しています。

学級に任されている部分もあり、統一された掲示物ではなく、学年や学級に応じて工夫されています。

◆「学びの足跡」の活用◆

授業で使った模造紙を掲示している学級がありました。授業中に先生から、掲示物で既習事項を確認するような声掛けがあり、児童の学習を支援するものとして活用していました。



4年生の教室の壁面：「世界にほこる和紙」

校内研修の様子

参加した日の校内研修では、ここまでに取り組んできた国語科の実践を振り返り、成果と課題を共有して、今後の授業づくりについて協議する内容でした。

学年ごとのグループに端末を用意し、グループで話し合ったことを端末に入力していました。全体共有の場面では、入力した画面がスクリーンに映し出され、画面を見ながらグループごとの発表が行われました。



一步先へ!



組織的な授業改善を進めるに当たり「共通理解する」、「ベクトルをそろえる」などの言葉がよく聞かれますが、菅生小学校では、実際にその取組が着実に進められていると感じました。組織的な授業改善を一步先に進めるためには、学年団の横のつながりはもちろん、6年間を見通した縦のつながりが大切です。全員が自分事として捉えて研究を進められるよう校内研修の在り方を工夫し、子どもたちの学ぶ力を育てていきましょう。

